

122三里塚現地集結

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！



風雨について意気高く 菱田(成田用水攻撃の現地)デモを貫徹(1/20緊急行動)

用水粉碎・自主耕作地守れ！ 反対同盟破壊攻撃許すな！

1/20緊急行動

十一月二〇日、降りしきる雨と風にもめげず、十一・二〇用水強行阻止・菱田廃村化反対、今秋二期着工策動粉碎現地緊急集結が開催され、反対同盟を先頭に各支援、動労千葉代表三〇名も含め、約五〇〇名が結集し、闘いぬいた。

いかなる攻撃も許さず徹底的にたたかう

―北原事務局長―

集会は、風雲急を告げるかのような風雨の中、反対同盟、萩原進事務局次長による力強い開会宣言で開始され、冒頭あいさつと基調報告に立った北原事務局長は、「十一・一〇は、近來にない四三〇〇名に及ぶ真に三里塚を闘う勢力が結集し、大成功をかちとった。さらに十一・一〇以降危機とあせりにかりたてられた政府・公団、権力・機動隊との現地大攻防戦を断固としてかちぬいている。そして、明日七一年強制代執行における機動隊三名撃破、いわゆる九・一六東峰十字路公判が開かれ、我々の仲間に対して有罪・重刑攻撃が加えられるとしている。」

十九年間の闘いは正義であり、裁かれるのは、国家権力である。われわれは、いかなる攻撃も許さず徹底的に闘わなければならないことを鮮明にした。

つづいて、敷地内市東東市さん、婦人行動隊の郡司とめさん、島村はつえさん、青行を代表して宮本氏等がそれぞれ決意表明をおこなった。

なかでも市東東市さんは、「昨日、政府・公団は機動隊を先頭にブル四台を投入した天神峰敷地内から東峰にかけて、表土をはぎとるといふ暴挙を開始した。政府・公団も許すことはできないが、こうした暴挙の水先案内人になり、『条件派組合』などをデッチ上げた石橋政次を絶対許せない。農地は百姓が先祖伝来たがやしつづけた命であり、その表土をはがすということは、百姓の命を奪うことに等しい。国家権力に百姓の命を売った石橋

を絶対に許せない。なにがあるうが勝利するまで農地死守で闘いぬく。共にがんばろう」と烈々たる怒りと闘う決意を表明した。

三里塚―国鉄決戦にたつ

―重見特執が決意表明―

つづいて労組を代表して動労千葉重見特執が連帯のあいさつにたち、「十一・一〇三里塚を闘う労働者の全国潮流を結集し、十一・一〇国鉄労働者集結を圧倒的に成功させ、いよいよ三里塚二期決戦、国鉄決戦にいどむ意志統一をおこなった。三里塚にかけられた二期攻撃、国鉄労働運動にかけられた『六〇・三』を突破口とする本格的一〇万人にも及ぶ首切り労働運動破壊を許さない勝利をかちとる一さいの基軸は、三里塚決戦を闘いぬき勝利することにある。共に全力で闘いぬくと気迫のこもったあいさつをおこなった。このあと菱田現地行動隊、脱落派による岩山記念館襲撃に対して命をかけて一人であたたかいぬいた支援の仲間からの決意表明等がなされ、集会は、さらに闘う中から十二・二現地集結会、来春三・二四の大結集をおたがい確認し圧倒的成功をかちとり閉会した。集会終了後ただちにデモ行動にうつり、菱田現地を席卷し、不当弾圧に血道をあげる権力・機動隊の壁をぶち破り戦闘的に貫徹しぬいた。

反対同盟破壊を狙う重刑攻撃を許すな 11・21東峰裁判で不当な論告求刑

翌、十一月二一日、千葉地裁における九・一六東峰公判闘争は、朝早くからかけつけた反対同盟を中心に周辺をうめつくす三里塚派の怒りの弾劾の中で、権力・千葉地裁は、延々六時間にも及ぶ何等立証のないデッチ上げ論告主旨を読みあげ、最高十年から一年という断じて許すことのできない重刑論告求刑攻撃をおこなった。われわれはこの有罪・重刑攻撃をわがものとして受けとめ、青行隊を守りぬき、三里塚闘争の正義にかけて断固粉碎闘争に決起し、怒りを爆発させなければならぬ。十二月二日、三里塚現地集結会（十時、成田運転区集合）に決起し、反対同盟を守り闘おう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！